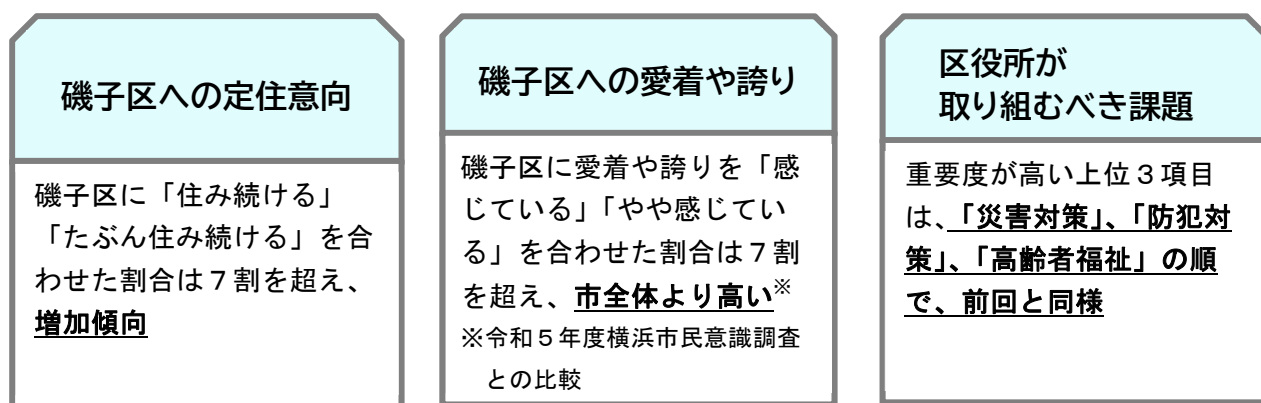


## 『令和5年度 磯子区民意識調査』の結果がまとまりました

磯子区では、今後も住みよいまちをつくるために、生活環境や地域活動等についての区民アンケート調査を、平成17年度より2年ごとに実施しています。

このたび、令和5年6月に実施した調査結果がまとまりましたので、お知らせします。



今回の調査で、磯子区への定住意向が高まっていることや、愛着・誇りが市全体よりも高いことが確認できました。また、区役所が取り組むべき課題や、新型コロナウイルス感染症拡大による健康への意識の変化などを把握することができました。

調査結果を今後の区政運営に生かし、住みたい、住み続けたいまちを目指して、引き続き施策を進めていきます。

◇磯子区民意識調査の結果をまとめた報告書を、区のホームページで公開します。  
また、広報相談係（区役所1階11番窓口）でも閲覧いただけます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/isogo/kusei/tokei/ishikichosa.html>



## 1 調査の概要

調査対象：磯子区内に居住する18歳以上の男女3,500人（外国人115人含む）  
（住民基本台帳から無作為抽出）

調査方法：郵送配付、郵送・インターネット回収

回答方式：無記名、選択式（一部記入式）

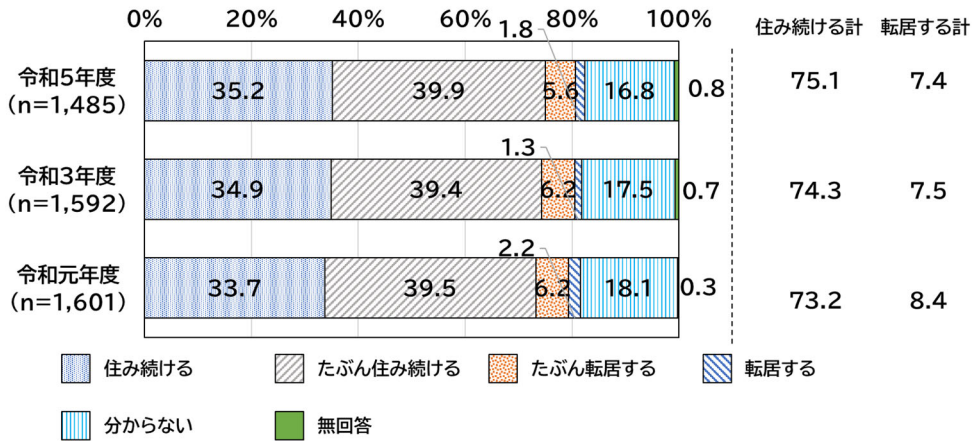
調査期間：令和5年6月1日（木）～6月30日（金）

回収数：1,485件（回収率42.4%）

## 2 主な調査結果

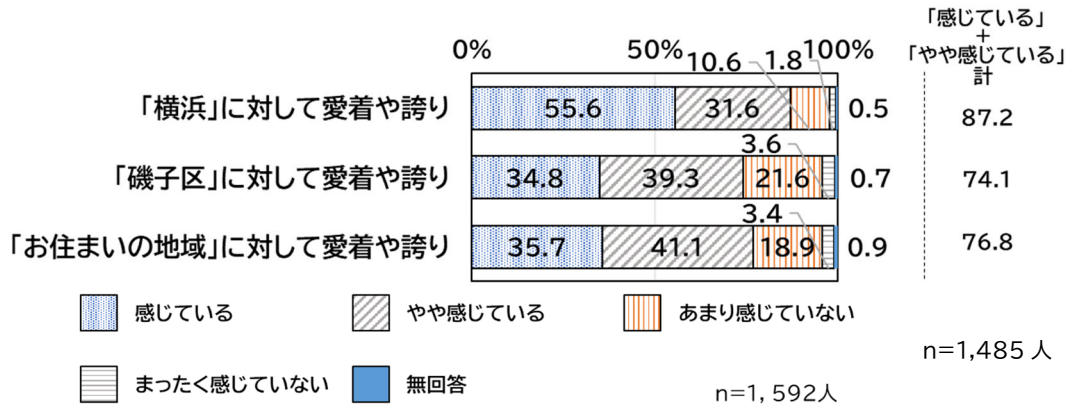
### Q あなたは、これからもずっと磯子区に住み続けたいと思いますか。

- ・「住み続ける」(35.2%)と「たぶん住み続ける」(39.9%)を合わせた『住み続ける計』は75.1%となっている。
- ・一方、「転居する」(1.8%)と「たぶん転居する」(5.6%)を合わせた『転居する計』は7.4%である。
- ・経年で比較すると、『住み続ける計』は増加傾向にあり、『転居する計』は減少傾向にある。

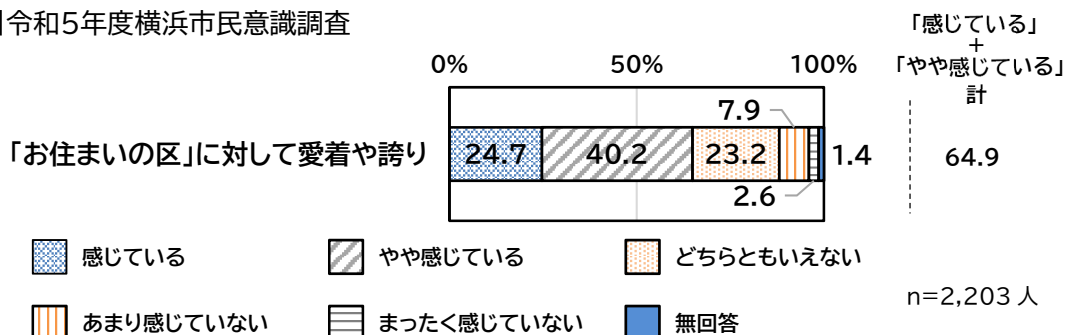


### Q あなたは、「横浜」や「磯子区」、「お住まいの地域」に対して、愛着や誇りを感じていますか。

- ・「磯子区」、「お住まいの地域」に対しての愛着や誇りを「感じている」がそれぞれ34.8%、35.7%であるのに対し、「横浜」では55.6%と約20ポイント高くなっている。
- ・令和5年度横浜市民意識調査の結果と比較すると、区への愛着や誇りを「感じている」、「やや感じている」の割合が高くなっている。



#### 【参考】令和5年度横浜市民意識調査



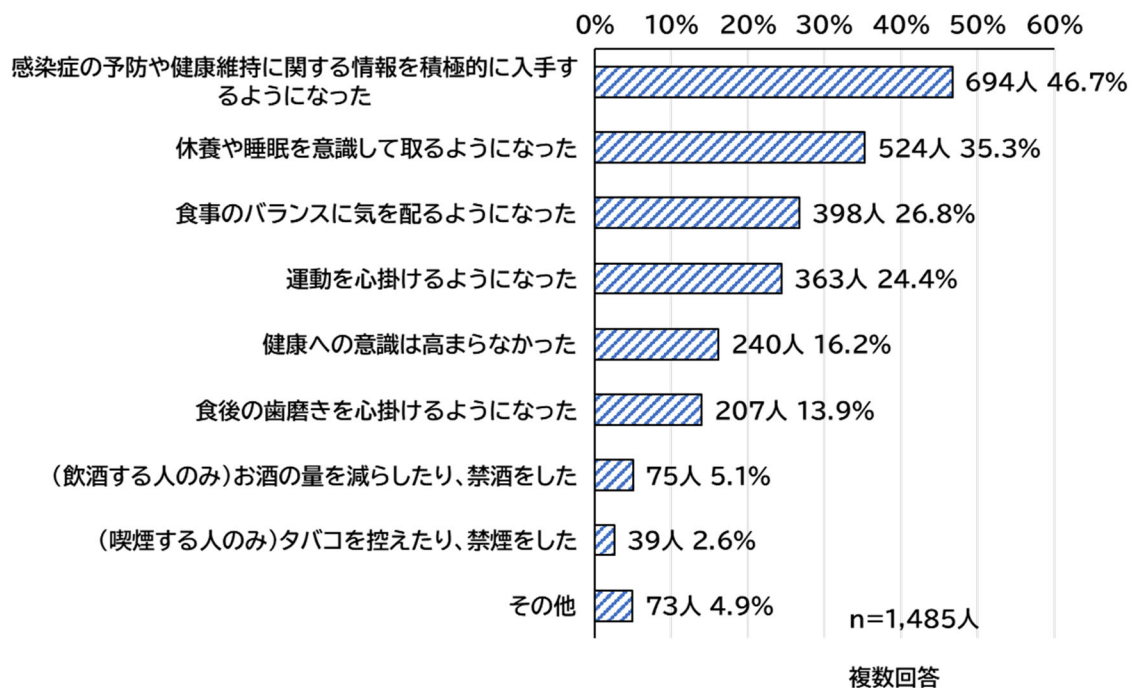
**Q 区役所が取り組むべき課題として重要度が高いものは何ですか。**

- ・最も多かったのは「災害対策」で44.3%。次いで「防犯対策」が36.0%と、安全・安心に関する項目が続く。
- ・前回調査と比較すると、上位5項目は同様であった。

	1位	2位	3位	4位	5位
上位5項目	災害対策 (44.3%)	防犯対策 (36.0%)	高齢者福祉 (35.1%)	身近な住民窓口サービス (25.5%)	ごみの分別収集・リサイクル やまちの美化 (23.2%)

**Q 新型コロナウイルスの感染症拡大を機に、あなたの健康への意識が高まったものはありますか。**

- ・全体では「感染症の予防や健康維持に関する情報を積極的に入手するようになった」が46.7%で最も高く、次いで「休養や睡眠を意識して取るようになった」(35.3%)となっている。



**お問合せ先**

磯子区区政推進課長 並河 麻由子 Tel 045-750-2330